
私の世界で居させて

桜舞姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の世界で居させて

【Nコード】

N6408Z

【作者名】

桜舞姫

【あらすじ】

こんな乱れた世界、居たくないから――――

子供のころから内気でいじめられていた私には、可愛い親友とたくさんさんの友達がいた。

緑色の帽子に、緑色の服。暖かい茶色の髪をした、女の子の人形。私の握ったクレヨンが描いた、動物たち。

人形が親友であり、紙の中にいる動物たちが友達。絵を描いてる時、それが私達の遊んでいる時だった。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

――あの人形、どうしたんだっけ

授業中、ふと思いついた人形と紙の中の動物たち。

結局、私の性格は変わらない。

内気で、人と関わるのが苦手で。

人付き合いが怖くて、人と一緒にいるのが嫌で。

気づけばいつも一人だった。

それをいままさら悔やむこともしないし、何かをするわけでもない。

少なくとも、人と関わらなければ自分の世界で生きていける。
できるだけ、人と接したくない。
皆がいる世界に踏み込むと、私はいつも追い出される。

追い出されるくらいなら、

疎まれるくらいなら、

人が大勢いる世界よりも、自分の世界に居たい。

自分の世界は、いつでも自分を歓迎してくれるから。

——ああ、そうか：

あの人形、私が描いた絵と一緒に捨てられたんだっけ

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

休み時間、周りの皆はそれぞれ集まってはしゃいでいる。
私は、自分の世界に入り込んだ。

——目の前には、親友だったあの人形。
その人形は、私をジッと見ている。

『ごめんね、一緒に世界に居られなくて、ごめんね…』

私の呼びかけに、人形は首を横に振ると消えてしまった。――

チャイムによって、またあの世界に戻される。

重たい空気と雰囲気、私を押し潰すくらいの勢いで押し掛かってきた。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

「あら？」

夜、長年使っていない棚を掃除していたお母さんが声をあげた。目をやると、お母さんの手には紙が何十枚か握られている。

「懐かしいわねえ。あなたの描いた絵が出てきたわよ」

お母さんの言葉に、思わずその紙を奪うように取る。

そのまま、階段を上がって自分の部屋に入った。

絵は今見ると、お世辞にも上手とは言えなくて。

でも、そこには私の世界が綺麗に映し出されていた。

――目の前にある、親友だった人形。

私をジッと見た彼女は、手を振った。

その瞬間、私の世界は音をたてて崩れ落ちた。――

嫌いな世界に戻り、しばらくして人形が手を振ったのは、別れのバイバイだったんだと気付く。

私は何十枚もある紙を濡らさないように、涙を流した。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

「そろそろ写生コンクールか」

「クラスに最優秀賞が出れば、私達でも自慢できるよね」

「ああ、それだったら大丈夫だよ。ほら、あの子がいるじゃん」

「え？あの暗い子？」

「知らないの？彼女、すごく絵が上手いんだよ」

— e n d —

（後書き）

——絵を描いてる時は、私の世界で、親友に、友達に会えるから——

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6408z/>

私の世界で居させて

2011年12月21日16時48分発行